

2024 年 5 月 26 日、オーロラ日本語奨学金基金主催の「第 20 回米国高校生による日本語スピーチコンテスト全米大会」がロサンゼルスで開催されました。アンカレジの日本語イマージョンプログラムを 2024 年に修了したリーナ・イデイスさんが見事、準優勝となり、今回その素晴らしい経験を私たちに共有してくださいました！

この日本語スピーチコンテストに出場したことは、私にとって目から鱗のような、そしてとてもやりがいのある経験でした。日本語イマージョンプログラムで 13 年間を費やした努力が報われ、素晴らしい気分でした。また、アラスカを代表して全国的なステージに立つ唯一の存在になれたことは、私にとって大きな名誉であり、誇らしい瞬間でした。

スピーチでは、日本語を学んできた道のりや、日本語が私を人間として成長させてくれたことについて話しました。日本訪問時に文化に親しんだことや、食事を楽しんだこと、素晴らしい人々に出会ったことは特に印象的な思い出であり、これらの経験は、日本と日本語に対する私の熱意をさらに深めたということを話しました。

また、その過程での挑戦と成果についても振り返りました。日本語を学ぶことは必ずしも簡単ではありませんでしたが、先生方、家族、友人のサポートが私を支え続けてくれました。イマージョン・プログラムは、私に広い視野と異文化への深い理解を与えてくれました。

コンテストは、全国から集まった熱心な日本語学習者と交流する素晴らしい機会でもありました。出場者の話を聞くことは刺激的で、人と人を結びつける言語の力を再認識しました。「準優勝」という結果は、日本語学習の道のりにおける私の努力とひたむきさが認められた、と感じさせてくれるものとなりました。

この経験は、私の日本文化と言語に対する情熱をさらに強くしました。これからも勉強を続け、新たな機会を探し求めたいと思います。私の体験談が、皆さんが自分の情熱を追求し言語を学ぶ道のりを楽しむきっかけになることを願っています。



オーロラ日本語奨学金基金 HP

<http://www.jlsf-aurora.org/jpn/page/speech-contest-1>